

神奈川県アイスホッケー連盟

2022年度 代議員会

議 案 書

2022年6月26日（日）18：30 開会

ZOOM 利用によるリモート会議

第1号議案	各委員会の報告および今後の方針	P 1-20
第2号議案	2021年度 決算報告および会計監査報告	P 21-23
第3号議案	2022年度 予算（案）	P 24-25
第4号議案	規約の改定	P 26
第5号議案	新規加盟チームの承認	P 27
資 料 1	2021年度 事業報告	P 28-32
資 料 2	2022年度 事業計画	P 33-35
資 料 3	登録者数推移	P 36
資 料 4	2021年度 レフェリー派遣一覧	P 37
資 料 5	神奈川県アイスホッケー連盟 規約	P 38-44
資 料 6	2021-2022年度 役員体制（現行）	P 45
資 料 7	第77回国体、その他神奈川県代表選手	P 46-49
資 料 8	懲戒処分一覧	P 50

第 1 号議案 各委員会の報告及び今後の方針

はじめに

新型コロナウイルス感染が続き日ア連事業の多くが中止を余儀なくされるなか、県連事業は各チームのご協力のもと感染対策を徹底することでなんとか開催にこぎつけ、クラスターを発生させることなく無事終了することができたのは、ひとえに各チームのご理解とご尽力の賜物であり、主催団体として感謝申し上げます。

一方で、大変残念なことに社会人神奈川選手権に於いて 6 名の重症事案が報告されました。(骨折 4 名 頭頸部外傷 2 名 内救急搬送 3 名) 皆様に安心してホッケーを楽しんで頂く為にも、スポーツの最も基本的なことである“Fair Play & Respect”に今一度立ち返り、選手、スタッフ、オフィシャルが一体となって試合のあり方を見直していく必要があると思いますので、皆様のご理解とご協力を切にお願い致します。

【競技・強化事業】

コロナの影響により国体県予選は中止しましたが、神奈川選手権は日程及び方式を変え開催することが出来ました。ジュニア強化に於いては、中学生が関東予選で目覚ましい活躍を見せ本大会に大いに期待がかけられましたが、現地入り後中止が決定、小学生は関東予選、本戦とも中止となり、全国での活躍の機会はありませんでした。ジュニア強化は神奈川県のアイスホッケー普及発展に不可欠な重要事業であり、女子強化と合わせ継続的に進めていかなければならないと認識しています。2021 年度にご尽力頂きました選手、保護者の皆様及び強化スタッフに御礼申し上げますと共に、強化事業に引き続き理解、ご協力をお願い致します。

【国体について】

ベスト 4 以上を目指した第 77 回国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会は栃木県日光市で開催され、成年 6 位、少年 4 位 総合 4 位と昨年総合 11 位から大幅に成績向上することが出来ました。

今年の成年チームの特徴は神奈川出身者が多く活躍したことで、これまでのジュニア強化の成果の現れであり、今後も非常に楽しみだと思えます。

2022 シーズンは、成年・少年ともブロック予選を勝ち抜き、更に上位を目指してまいります。

【日ア連事業】

アジアリーグは、昨シーズンに続き新型コロナウイルスの影響により国内 5 チームだけのジャパンカップとして開催、コロナ要因での中止試合もありましたが、横浜グリッツホームゲームとして KOSÉ 新横浜スケートセンターで 14 試合が開催されました。感染拡大防止策を徹底し、観客人数も通常の半分以下に抑えての開催にはありましたが、横浜でのホッケー熱を感じられる大会になりました。

2022 シーズンも、横浜グリッツと連携し 1 試合でも多く誘致・集客できる体制で臨もうと思えますので、引き続き応援宜しくお願い致します。

【普及関連事業】

人口の減少とともに競技人口が減っており、低学年(U9)からの普及活動と女子の活性化は将来のアイスホッケーの発展にとって重要な施策です。普及委員会の積極的な活動を通じ、日本アイスホッケー連盟と連携したクロスアイスの導入、U9 クロスアイスと体験会の実施、春季秋季の小中女子神

奈川選手権の開催をコロナ禍のいろいろな制限もありながら実施してきました。ご協力頂いた保護者・スタッフの皆様には感謝申し上げますと共に、継続的な活動に更なるご厚情とご協力をお願い致します。

【課題】

まずは年齢を問わず安心安全にアイスホッケー楽しむことができる環境を選手、スタッフ、オフィシャルと共に再構築していく必要があると考えます。日ア連の「FairPlay & Respect 憲章」とも連携してこの活動を推進してまいりますので、皆様のご理解ご協力を切にお願いいたします。

また 数少ないスケートリンクの維持継続もアイスホッケーの普及を支える重要事項です。相模原市銀河アリーナの存続については日本アイスホッケー連盟、東京都アイスホッケー連盟とも連携して活動を行っておりますので、こちらについても皆様のご理解ご協力を宜しくお願い致します。

1 総務委員会

2021年度の県連登録者総数は 1,306名でした。※資料 3【登録者数推移】参照

2020年度の登録者数はコロナ感染拡大の影響で大幅減でしたが、2021年度は「アイスホッケーをやりたい」という欲求が強まり、2020年度に比べ 22名の微増となりました。

インラインチームが 2年続けて活動を自粛(年度登録数 0)したのもコロナ感染拡大によりインライン大会が開催できなかったことによります。

1日も早く、新型コロナウイルス感染が収束し、日常の活動に復帰できることが待たれます。

今後も、選手で 2,000名を越える県連に回復していくよう努力を続けていきます。

1999年度以降、神奈川県で登録した選手・役員の情報を蓄積しています。個人情報管理する部署として守秘義務等、十分な配慮を行って処理しています。

2 医事委員会

2021年度、医事委員会は、2020年度と同様に新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、県連が主管する各大会での感染拡大防止への対応が引き続き重要な課題となりました。今年度も多くの大会が中止を余儀なくされたものの、KOSÉ 新横浜スケートセンターで開催されたアジアリーグジャパンカップでは多くの方に会場していただきましたが、競技役員や観客におけるクラスターの発生はなく、また社会人の神奈川県選手権は、一部の試合を除き開催できたことなど、徐々にアイスホッケーのある日常が戻りつつあります。

一方で、大変残念なことに、社会人神奈川県選手権では、骨折 4名(鎖骨 2名、肋骨 1名、足関節骨折 1名)と 2名の頭頸部外傷(鼻骨骨折 1名を含む)が報告され、そのなかでも救急搬送された選手は 3名でした。ペナルティを伴う接触プレーによる傷害は 2件、3件はペナルティを伴わなかった接触プレーでしたが、そのうちの 2件は傷害者側チームより懲戒を求める意見書が県連に提出され、非常に後味の悪いものとなりました。前年度の神奈川県選手権は試合数が少なかったものの傷害の報告は頸椎捻挫 1件のみであり、重篤な傷害が急増しているといえます。

多くの方がアイスホッケーとは別に仕事を持たれていると考えられ、怪我の影響はプラベートだけにとどまりません。また、この年代で怪我をすることで引退を考慮する選手が出ることになれば、貴重なアイスホッケーファミリーの仲間を失うことになります。

加害側のチーム/選手は、「我々はサッカーをやっているのではない」というようなことを常套句と

することがあります。しかし、体格差や技量差のある相手に怪我をさせるようなボディチェックや、相手選手を煽り殴りかかるようなラフプレーはアイスホッケーといえるのでしょうか？いま一度、スポーツマンとして最も基本的なことである“Fair Play & Respect”に立ち返り、怪我なく試合が遂行されることを医事委員会として強く求めます。

3 会計委員会

- (1) 各委員会別に予算を配分し、それに基づいた予算支出の総合管理は引き続き有効に機能しています。現在の予算枠残高は各委員会担当理事により、その用途管理が行われています。会計委員会は支出される内容が会計規則に則って正しく運用されているかを確認し、また、各チームの協力を得て収支を改善し、財務の適正管理を行っています。
- (2) 会計処理(入金と支出)の日常的な処理および会計業務の正確且つ迅速な処理ができるよう体制を強化し、各チーム残高についても、月1回以上の更新を心がけます。
- (3) 2021年度は、アジアリーグジャパンカップが開催されたこともあり、横浜グリッツのホームゲームでの主管手数料収入がありました。

4 広報委員会

“正確な情報を迅速に”という基本理念のもとに、2001年10月20日に立ち上げ、2022年6月4日現在、トップページアクセス数は6,416,570件に達しています。

県内・県外問わず各大会の試合結果を迅速に掲載することを心がけています。

各チームへの周知事項をHP上で公開することにより、代表者へのe-mailでしか配信できなかった情報が、代表者以外のメンバーにも伝達が可能となり、情報をより確実に、チームに伝えることができるようになったと思っております。

しかしながら、専従職員のいない広報委員会では、自身から情報を収集することが困難です。試合結果の迅速な更新はひとえにオフィシャル当番による正確で、すばやい送信が不可欠です。情報をタイムリーにHPに反映するためにも大会運営担当者、大会参加者の深い理解と協力をお願いします。

また、専門知識を持った人材が広報委員会には不足しております。県連登録者やその知人の方で、HP運営にボランティアで協力いただける方のご協力を強く希望致します。

各チームにあっては、引き続き www.kihf.net を連盟からの重要事項の伝達手段として活用してもらおう、定期的な閲覧と掲示情報の確認をお願いします。

5 審議委員会・懲戒委員会

(1) 審議委員会事項

2021年度は審議委員会の対象となる案件はありませんでした。この状況を続けていかれることを望みます。

(2) 懲戒委員会事項

2021年度はコロナ禍のなか神奈川選手権をはじめ多くの大会が開催されました。皆様のご協力のもと懲戒処分は少ない状態を保っているものの、残念ながらキッキング、ファイティング、アビューズオブオフィシャルの重大な反則が発生し、出場停止の追加処分が課されています。

(※資料【懲戒処分一覧】参照)

キッキングは、スケートのエッジが危険な刃物でありえることから、どのような状況にあっても(たとえ無意識でも)スケートが相手選手に向かわないようにすることが競技の安全のために必須であり、全てのプレーヤーにそのコントロールの責任があります。

ファイトイングは素手で顔面を殴るなどの行為が大きな怪我にもなりうることから、アイスホッケーではあってはならないこととしてルールブックに明確に規定されています。

またアビューズオブオフィシャルについては、単にオフィシャルへの暴言というだけでなく、危険を伴うスポーツにおいていかにすべての関係者に対するリスペクトが重要であるが故に課されるペナルティです。

新しいルールブックにはこれらのことが明記されていますので、すべてのチームに於いてルールブックを今一度読み返して確認頂き、今後の試合に於いてもルールを遵守し、フェアプレー精神で怪我のない楽しい試合を行って頂くようお願い致します。

6 強化委員会

(1) 成年強化について

2021年度は、新型コロナウイルスの影響により、国体本大会(夏季)が中止になり、冬季大会も直前まで開催されるのか不透明な状態でした。代表メンバーは、日本体育大学・慶応義塾大学の学生が中心になっており、各大学も新型コロナウイルスの影響で集合が遅れたり、合宿が中止になったりと、コンディション作りに苦労しました。強化練習に関しても緊急事態宣言の影響等により、例年より遅いスタートとなり、練習回数も限られてしまいました。

2021年度は、関東ブロック予選を突破しなければ本戦に出場できない状況でしたが、ブロック予選は見事2位通過することができ、本戦出場を果たしました。

本戦は、栃木県日光市で開催されました。

神奈川県は、1回戦で沖縄県と対戦し順調に勝ち、2回戦の滋賀県はクロスゲームとなりましたが、勝利をすることができました。準々決勝の京都府とのゲームでは正ゴールキーパーが相手選手と衝突し、脳震盪により途中からセカンドゴールキーパーが出る状況になりました。最終的にはPSSで敗戦し、順位決定戦へと回りました。5-6位決定戦で栃木県と対戦し敗戦。結果は6位で終了いたしました。昨年よりもいい成績を残せました。コロナ禍でのコンディション作りなどもありましたが、選手たちは精一杯頑張ってくれたと思います。

2022年度もブロック予選突破が必須になりますので、感染拡大防止対策をしっかりと行いながら、昨年度以上に強化していきます。

(2) 大学(2種)強化について

新型コロナウイルス感染拡大により部活動停止の大学もあり、今年度も県内事業は中止。

連盟所属大学チームの参加している県外事業では、

第22回 アイスホッケー交流戦 苦小牧大会

第64回 東日本医科学生総合体育大会

が中止となりました。

開催された 2021 関東大学アイスホッケーリーグ戦では、

神奈川大学 デイビジョンⅠグループB 第6位

横浜国立大学 デイビジョンⅢグループ 準優勝

聖マリアンナ医科大学 出場辞退

また、秩父宮杯 第68回 関東大学アイスホッケー選手権大会では、

神奈川大学がAグループ13位

という結果になりました。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止により大学の部活動が制限されています。早期に活動再開し、強化事業を全校で出来る事を願います。

(3) 少年(高校生)強化について

“関東ブロック予選突破、そして国体優勝！”を目標にチーム作りを進めてまいりました。コロナ感染拡大の影響により、昨年度と同様に国体県予選を11月に行うことになりました。十分に強化練習を行うことができたとは言えませんでした。優勝した武相高校を中心に25名の選手を選抜し、さらに強化練習の中で代表選手16名を選考し、短い時間でチーム作りを行いました。

栃木県日光市で行われました関東ブロック予選は、例年通り熾烈な出場権争いとなりました。予選リーグでは山梨県に勝利しましたが東京都には引き分け、最終日の代表決定戦は茨城県との試合となりました。試合は予想通り接戦となり、GWSまで纏れ込みました。茨城県は1人目を成功させましたが神奈川県は二人目と三人目がシュートを成功させ、6年連続となる本大会出場権を獲得しました。

本大会も日光市で行われました。1回戦の福岡県、2回戦の愛知県との試合は映像を交えて対策を練ったこともあり、危なげなく勝利したものの、準決勝の北海道との試合は練習量の差が大きく出てしまい、大差で敗れました。3位決定戦は関東ブロック予選で引き分けた東京都と再戦することとなりました。目標である第3位入賞を目指し選手は必死に戦うも、0-5で敗れましたが、二年振りに第4位に入賞して大会を終えることができました。

まずは、強化練習から国体まで一人もコロナ感染者を出さずに、終了させることができ安堵しております。目標には届きませんでしたが、無事に関東ブロック予選を通過できた事と入賞して本大会を終えた事が収穫でした。1・2年生から半数となる8名が選出されていたので、次回に経験を活かしてほしいと思います。

県内の各大会につきましては、慶應義塾高校と武相高校の2チームでの開催となっております。ここ数年で全国的に見ても高校カテゴリーの選手数は減っていると思われます。高校生チームとしてアイスホッケー界の発展にどのように貢献していくか、これも課題の一つです。

(4) ジュニア強化(小・中)/一貫指導強化委員会について

強化委員会では県スポーツ協会競技力向上対策事業のジュニア強化助成金を活用し、全国大会に向けての強化練習を10月より開始しましたが、コロナ感染拡大に伴い開催されたのは中学生の関東大会のみで、全国大会はすべて中止となりました。そのため強化練習も2月中旬で終了という短いシーズンになりました。

そうした中、特に中学生選抜チームにおいてはあえて 1x0、2x1、3x3 といった基礎的な練習を軸に、①パス・②レシーブ・③シュート・④スケーティング・⑤体力アップの基本的な技術を確実に習得、試合に活用することを目指しました。

毎回同じ練習を繰り返して来ましたので選手や関係者からの不満も出ましたが、関東大会では準決勝で日光中に勝利、決勝でも日光東に善戦し準優勝という結果を出せたことは、チームとして大きな自信につながったと考えています。1月の全国大会(釧路市)は現地まで行きましたが、大会前日の20時に開催が中止になり、辛い思いをさせることになりました。公式練習を見ていた限りでのレベルでは、ベスト4までは勝てる可能性があると考えていましたので非常に残念でした。

関東大会から中止となったU9・高学年は成果の確認には至りませんでした。選抜チームの練習のみならず各クラブチームでも基礎的な練習での一人一人の頑張りを継続することがレベルアップにつながり、U9・高学年から中学生までの選抜チームの競技力向上に繋がると思います。

尚一番の課題は連盟のジュニア強化体制の充実としますので、強化委員会と普及委員会とで力を合わせて強い神奈川県復活を目指したいと考えています。

(5) 女子強化について

女子強化委員会としては、【小学生】ジュニアレディース長野大会優勝、【中高生】日光杯全日本女子中高生大会ベスト4、【女子】全日本女子(B)優勝を目指して活動しておりますが、例年練習枠を確保する事が困難で、思うような活動を進めることが厳しい状況です。

【小学生】

ジュニアレディース長野大会は、軽井沢風越公園アイスアリーナにて開催されておりましたが、近年コロナウイルスの影響で中止が続いております。

小学生女子は中学生への進学時期や中学校の部活動の開始に伴いアイスホッケーから離れてしまったり、男子と一緒にすることが体力的にもきつくなり、続けていくのに悩んでしまうことが多い時期ですが、中高生の日光杯へと繋がっていく大事な事業なので今後もこの大会が続いて行って欲しいところです。

【中高生】

JOCジュニアオリンピックカップ大会 第16回日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会もまた、新型コロナウイルスの影響で中止になってしまいました。

しかしながら栃木県主催で代替大会「プラオレ！カップ」が11月27日28日に開催され、関東選抜として千葉県2名・山梨県2名・神奈川県10名の14名で参加しました。

【女子】

全日本女子アイスホッケー選手権大会に関しては、関東ブロック代表として(B)ではハセガワウィッチーズが、(C)は日本体育大学が出場予定でしたが、こちらも新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

依然として選抜チームとしての合同練習の時間確保が厳しい状態に変わりはありません。また、競技人口の減少が見られ、他県との合同チームとしての参加も続けていかなければなり

ません。神奈川県内の女子選手達が他都県に移籍しなくてもホッケーを続けていきたいと思える環境を作りたいと思います。

今後とも皆様のご理解とご協力をお願い致します。

7 競技委員会

2021 年度の大会は、新型コロナウイルス禍ということもあり、日ア連「ガイドライン」等に基づき新型コロナウイルス感染症対策を実施し、開催致しました。

大会会場はすべて横浜銀行アイスアリーナで、着替えに使用するエリアもギャラリー & ロッカーに限定して試合予定に組み入れ、新たに作成した「コロナ対策追加要項」及び「SV 新型コロナウイルス対策の手引き」に則り体温検査、サーキュレーター設置等、SV 主導且つオフィシャルに協力頂き徹底致しました。

第 69 回 神奈川県アイスホッケー選手権は、38 チームの参加(3 チームが辞退)で 2021 年 12 月 8 日に開始、2022 年 5 月 1 日迄に完了致しました。

コロナ禍による会場使用制限があり、十分な期間が取れなかったため第 77 回国民体育大会神奈川県予選会は実施できませんでした。

選手権は、コロナ禍による選手感染及び濃厚接触者の場合は、試合出場を見合わせて頂けるようお願いしました。

そのため、試合辞退によるペナルティを無くし、各部入れ替えもなしと致しました。

結果、133 試合中 13 試合が棄権、1 試合が没収ということで、合計 14 試合が未実施となりましたが、新型コロナウイルス感染によるクラスターの発生は、防ぐことが出来ました。皆様のご尽力の賜物だと思います。ありがとうございました。

第 69 回神奈川選手権では 6 名の重症事案が報告されました(骨折 4 名頭頸部外傷 2 名 内救急搬送 3 名)。

対戦チームへのリスペクトを欠く暴言を吐く選手や、相手が重傷を負うリスクを十分理解せず、結果として過剰なボディコンタクト(チェックング)を行う選手も散見されました。

正当なチェックだから怪我をさせるのはやむを得ないということではなく、出来る限り安全に競技としてのアイスホッケーを競い合い、楽しんで頂くために、競技委員会としても選手、スタッフ、オフィシャル全ての関係者へのフェアプレー & リスペクト及び危険回避の技量習得のためにセッションを企画してまいりますので、各チームからの積極的なご参加及び公式戦に関わる全員へのフェアプレー & リスペクト徹底について、ご協力をお願い致します。

2022 年度は第 68 回選手権参加時のリーグ分けを踏襲し、第 69 回選手権リーグ内順位を第 70 回選手権に引き継いで参ります。尚、2022 年度も選手権・国体県予選とも横浜銀行アイスアリーナをメインの会場とし、KOSÉ 新横浜スケートセンターで確保した枠を各部にできるだけ公平に割り当てる試合日程とする予定です。横浜銀行アイスアリーナのスコアボードは、試合ごとにオフィシャル当番チームが操作機器の設置・片付けを行う必要があります。

課題は引き続き大切に、慎重に使用して頂くことです。特に操作盤の電源アダプタや接続部のケーブル類は複数回交換しております。接続部のケーブル破断は、慎重に扱えば起こらないことです。オフィシャル当番チームにおかれましては、十分注意して取り扱いをお願い致します。

第70回神奈川県アイスホッケー選手権及び第78回国民体育大会神奈川県予選会は、2022年9月初旬から開始し、2022年度内に終了する予定で計画しています。

横浜銀行アイスアリーナの貸し切り・F区分(22:30~24:00)を横浜銀行アイスアリーナの抽選会以前に県連として確保し、今後もしのける限り加盟チームに配分してまいります。

2021年度及び2022年4月におこなったF枠利用者会議は、ZOOMによるリモート形式にて実施致しました。参加者のご協力により、時間通り且つ円滑に完了致しました。

ご協力ありがとうございました。県連主催大会開催枠を先行確保し、空き枠を打ち合わせ会に参加した加盟チームにアプリを活用した抽選で分配しました。大会枠・チームの練習枠が夜間・深夜帯に限られる状況で、少しでも加盟チームの利益につながるよう今後も継続して参ります。

尚、2022年度以降の変更点ですが、理事によるスーパーバイザーはなくなり、幹事チームのみで全試合のSVをご担当頂きますのでご承知おきください。

以下、最重要事項です。3点徹底頂きますので宜しくお願い致します。

- ① チーム及び選手の登録費、大会参加費入金の期限厳守について、徹底をお願い致します。未入金の場合は大会参加を認めませんので、この時点でご了承頂きたくよろしくお願い致します。
- ② 各スケートリンクは、飲酒、酒類の持ち込みは禁止です。また、ゴミ類は、各自で持ち帰らなければいけません。各チーム内で再周知徹底願います。
- ③ 再度のお願いとなりますが、公式戦では、関係する全ての方々をリスペクトしてください。暴言、過剰な暴力、過剰なボディコンタクトについては、厳正に対処致しますので、各チーム内で周知徹底願います。

8 普及委員会

(1) 小・中学生・女子の普及について

普及委員会では、コロナ禍でも常時EメールとLINEグループで連絡を取り合い、原則理事会開催前週の毎月第一水曜日に、ジュニア強化練習や各種大会の情報展開を含め、普及委員会を開催してきました。

昨年度は各チームのご理解ご協力の下、春季大会は、小学生低学年のU9クロスアイスは大大会開催せず、代わりに日本アイスホッケー連盟育成委員会が今後導入する「ハウスリーグ」の試験開催を相模原市銀河アリーナで協力開催しました。

また、小学生高学年、中学生は同じく銀河アリーナでの1日開催としました。

女子は秋季大会のように横浜銀行アイスアリーナでの分散開催を予定しましたが、コロナ禍によるリンク営業時間短縮により、開催を見送りました。

秋季大会は、小学生低学年のU9クロスアイスは人数制限のため開催を見送りました。

当初、銀河アリーナでの集中開催を予定していた小学生高学年、中学生は、ワクチン接種できない年齢のため、事前に共同購入した抗原検査キットにより、毎回駐車場内での抗原検査を実施し、送迎の保護者も入場観戦できない無観客試合とし、オフィシャル当番の人数も最小限とするため、小学生はゲームシートも作成しない徹底したコロナ対策を実施し、横浜銀行アイスアリーナ県連少年貸切枠を活用しての分散開催を行いました。

女子も横浜銀行アイスアリーナでの開催を予定しましたが、コロナ禍によるリンク営業時間短縮により、開催を見送りました。

日本アイスホッケー連盟より、毎年開催を打診されてきた KOSÉ 新横浜スケートセンターでの小学生低学年全国大会開催も準備を進めておりましたが、関東ブロック予選を前に、全国大会開催も中止が決まりました。

今後は、日本アイスホッケー連盟内で小学生低学年全国大会開催の是非について、全国を3~4ブロック程度に分けた大会開催も含め再検討される予定です。

今年度春季大会は、小学生高学年、中学生、女子ともに相模原市銀河アリーナで開催しました。全体的に試合時間を短くし、小学生は5チーム参加、中学生はリーグ戦とし、試合数を増やす試みを始めました。

また、小学生低学年は昨年度のハウスリーグを踏襲し、毎月1回所属チームに関係ないチーム分けでのU9クロスアイス企画し、同時にアイスホッケー体験会の開催も目指します。

得点差が大差となるゲームを廃し、「みんなで参加」「とにかく楽しむ」「成長に繋げる・仲間と繋がる」を目標に、年齢と競技フィールドの大きさによるパックタッチやシュート数を増やす事が目的です。これを出発点とし、低学年からのジュニア強化へと繋げたいと考えております。

今後も神奈川県スポーツ協会や横浜市スポーツ協会と協同し、ジュニアチームの活動や県内大会開催を様々な媒体を通じ紹介し、選手の開発と育成に寄与して参りたいと思います。

(2) インラインホッケーの普及について

2021年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、第24回関東インラインホッケー選手権、第24回全日本インラインホッケー選手権大会男子Bプール・女子Lプールともに開催中止となりました。

(3) オールドタイマーの普及について

2021年度5/15~7/24に交流大会を計画しましたが、残念ながらコロナ禍の社会情勢により中止となりました。オールドは高齢者故に慎重さが求められ、少しでも無理な開催はさげなければなりません。オールドの全国大会である全日本オールドタイマー大会も計画されましたが直前で中止となっています。アイスホッケーを生涯スポーツとして楽しめる環境はぜひとも神奈川県でも確保していきたいと思います。2022年度は各チームが試合にのぞめる体制をしっかり整えていただき、オールド交流戦を社会人がオフである7月から8月にかけて準備したいと考えています。

9 レフェリー委員会

2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、全国および県内の大会の一部が中止になりましたが、2020年度に比べるとより多くの試合が行われました。2021年度もレフェリー活動へのご協力いただきありがとうございました。

レフェリー委員会は県内登録の日ア連公認レフェリー24名と県外からの日ア連公認レフェリーの応援を受けて活動しております。県内事業143試合に、のべ306名の公認レフェリーを派遣しています。各チームにはレフェリー連絡員としてご協力頂いていますが、それでもなおコロナ禍のため公認レフェリー数がさらに不足し、一部の公認レフェリーへの偏りは依然として解消されていません。感染防止の観点からシフト変更を余儀なくされる試合もあり、余裕をもったシフト編成が行えていないのが現状です。

レフェリー活動を円滑に行うため、2020年度から社会人大会は各チームのオフィシャル担当時に、ラインズパーソンをレフェリー連絡員に担当してもらっています。お陰様でオンアイスオフィシャルに大きな怪我や事故もなくシーズンを終えることができました。

ただし、個々のスキルのばらつきによって公正なジャッジがされない場面があることなど、複数のチームから意見が挙げられているのも事実です。

そこで、レフェリー連絡員の登録および活動内容を変更したいと考えています。変更にあたり、まず、レフェリー連絡員の名称を「チーム登録レフェリー」とします。下記にその変更案を記載します。

- ・チーム登録レフェリーは所属チームにルール変更や解釈などの伝達を行う。
- ・各チーム、チーム登録レフェリーの登録は2名までとする。2名のうち公認レフェリーは1名までとする。

・1部と2部の試合についてはレフェリー委員会から公認レフェリーを3名派遣する。

・3部から5部の試合はレフェリー委員会から公認レフェリーを1名もしくは2名派遣とする。ラインズパーソン1名はオフィシャル当番チームのチーム登録レフェリーが担当する。公認レフェリー1名派遣の場合、もう1名のラインズパーソンを1部と2部のチーム登録レフェリーが担当する。そのシフトはレフェリー委員会から指定する。(シフトの調整方法などは監督会議までに提案する予定です)

チーム登録レフェリーが公認レフェリーと共にスキルが向上できるよう、レフェリー委員会としてもレフェリークリニック等の活動を活発に行なっていきます。

また、試合中の選手のケガが多かったのも2021年度の特徴です。レフェリー委員会としても公認レフェリー、チーム登録レフェリーを問わずに、怪我や事故を未然に防ぐようにゲームコントロールするスキルの向上を目指しますが、「フェアプレー&リスペクト」を前提に、チームや選手個人として、怪我をしない、怪我をさせない「安全で楽しいスポーツ」であることをより心掛けてほしいと思います。

今後もレフェリー活動へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

10 日ア連事業について

(1) アジアリーグアイスホッケーについて

2021-2022シーズンも、新型コロナウイルスの影響により、国内5チームだけのジャパンカップとして開催されましたが、コロナ感染により中止になってしまった試合も出ました。

横浜グリッツホームゲームとして、KOSÉ 新横浜スケートセンターで14試合が開催されました。感染拡大防止策を徹底し、観客人数も通常の半分以下に抑えての開催になりましたが、予想を上回る数の観客を迎え、横浜でのホッケー熱を感じられる大会になりました。

2022シーズンも、横浜グリッツと連携しながら1試合でも多く誘致・集客できる体制で臨もうと思います。

(2) 第 56 回全日本アイスホッケー選手権大会(B)

2019 年度から「日本アイスホッケー連盟会長杯」は「全日本アイスホッケー選手権大会(B)」に大会名が変更となり、2022 年 2 月に北海道帯広市にて開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、2 年連続で中止となりました。

(3) J-ICE について

愛知県名古屋市で開催予定でしたが、3 年連続で新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

11 特別報告:相模原市銀河アリーナの存続について

相模原市銀河アリーナは老朽化に伴う隣接地への建て替え計画など各種情報がありましたが、2019 年に行われた相模原市長選で現在の市長に変わってから、廃止の方向に方針が変更されました。

神奈川県内には競技のできるスケートリンクは 3 施設しかありません。

競技人口を増やし、普及・競技力の向上のため、施設数を増やすことこそ必要です。

そこで当連盟も神奈川県スケート協会、カーリング協会と共同し、相模原市への意見提出、ネット署名行動への参加呼び掛け、相模原市市民局スポーツ推進課への質問など行ってきました。

また本件に関しては日ア連、東京都連とも情報共有を行い、2021 年 12 月 20 日、相模原市 本村市長と面談し、日ア連・東京都連・神奈川県連の連名で要望書の提出を行いました。

「銀河アリーナ存続に関する要望書」参照



本村相模原市長面談には、日ア連の水野会長と細谷副会長(元東京都連会長)、江守都連会長と藤木会長が出席し、当連盟作成の「銀河プレゼン資料」に基づき水野会長以下皆さまから要望と提案をして頂きました。15 分間の短い面談でしたが、熱意は伝わったと思います。

市長からは、今後は無作為抽出の市民意識調査をして、民意を探るとの回答でした。

尚、パブリックコメントでは 4 割が銀河アリーナ廃止反対とのことでした。

(内 8 割が相模原市民外)

令和3年12月20日

相模原市

市長 本村 賢太郎 様

公益財団法人

日本アイスホッケー連盟

会長 水野明久

公益財団法人

東京都アイスホッケー連盟

会長 江守秀次

神奈川県アイスホッケー連盟

会長 藤木幸太



銀河アリーナ存続に関する要望書

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素はアイスホッケーの活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本アイスホッケー連盟は、我が国のアイスホッケー界を統括代表し、東京都並びに神奈川県アイスホッケー連盟とは、加盟関係にあります。

東京都と神奈川県のアイスホッケー登録者数は、北海道に次いで第2位、第3位であり、両都県で全国登録者数の約3割を占めます。

関東ブロックでは、本年11月に開催したジュニア選手強化プログラムであるU14・U16関東ブロックキャンプを、相模原市の位置関係と製氷品質の良さから、山梨県選手も含めて銀河アリーナで開催させて頂きました。

また、女子アイスホッケーでは、神奈川県、山梨県、千葉県の3県で関東選抜チームを組織し、毎年月例強化練習を銀河アリーナで開催し、日光杯全日本女子中学・高校生大会にこれまでチャレンジして来ました。

そして、今年から始まったJIHF普及・育成基盤強化プロジェクトでは、コロナ禍の5月に銀河アリーナの施設の広さを最大限に活用し、「JIHF DEVELOPMENT HOUSE LEAGUE(ハウスリーグ)」を開催させて頂き、3on3での年齢層に適した広さとゴールを使った全国統一の育成指導方針の研究を試み、貴重なデータ収集をすることができました。

ショートトラックスピードスケート、カーリングの練習設備も整い、関東圏内で好立地の緑多き公園に囲まれ恵まれた環境のスケートリンクは、国内でも希少な存在であり、未来を担うジュニア選手や多くの市民の健康増進のために必要不可欠な運動施設でもあります。

相模原市民、神奈川県民が氷上競技に触れることができる数少ない施設のうちの一つであると同時に、日本アイスホッケー競技活動や育成活動を首都圏で支える重要施設であると理解しております。何卒、銀河アリーナの存続に、貴殿の絶大なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

子供たちの夢と市民の健康のために

2021年12月20日

KIHF 神奈川県アイスホッケー連盟



1. 神奈川県アイスホッケー連盟

会長 藤木幸太 理事長 金子精司

(設立)

1976年(昭和51年)4月24日

(主たる目的) 連盟規約より抜粋

神奈川県におけるアイスホッケー団体を総括し、かつこれを代表する唯一のアマチュア団体であってアイスホッケーの普及および振興を図り広く県民の健全な発達に寄与することを目的とする。

(主な事業) 連盟規約より抜粋

1. 神奈川県におけるアイスホッケーの普及および、指導者の養成
2. アイスホッケーに関する神奈川県選手権大会の開催およびその他の競技会の開催
3. アイスホッケーに関する国内競技会に対する代表参加者の選定および派遣
4. アイスホッケーに関する選手の競技力の向上
5. 日本アイスホッケー連盟に対し、神奈川県のアマチュアアイスホッケー界を代表して加盟すること
6. 財団法人神奈川県体育協会に対し、アマチュアアイスホッケー界を代表して加盟すること

2. 神奈川県のアイスホッケー競技の状況

a. 競技人口 (2019年度)

カテゴリー	チーム数	登録選手数
アジアリーグ	1	23
社会人	41	871
大学生	4	92
高校生	2	44
中学生	5	65
小学生	5	136
女子	4	60
オールドタイマー	1	43
合計	63	1334

- 全国の競技人口約19000人
- 北海道・東京に続く第3位の競技人口
- 2008年の1865人がピーク。直近5年はほぼ1300人で安定
- 相模原市には社会人(5)、中学生(1)、小学生(1)、計7チームがある
- アジアリーグは2020年から横浜グリッツが加入

b. 主催大会 2021/22シーズン

大会名	カテゴリー	期間	試合数	@
アジアリーグ	AL	21/9-22/3	16	新横浜
神奈川県選手権	社会人	21/12-22/3	133	浜銀
国体予選	社会人	コロナにより中止	(54)	浜銀/新横浜
インターハイ予選 兼 国体(少年)予選	高校生	21/11及び22/5	1	新横浜
神奈川選手権	中学生	21/11及び22/4	8	浜銀/銀河*
神奈川選手権	小学生	21/11及び22/4	8	浜銀/銀河*
神奈川選手権	女子	21/11(コロナにより 中)及び22/4	4	銀河
神奈川選手権	大学生	休止中	0	
合計試合数			170	

- コロナ前の18年シーズンは神奈川選手権・国体予選合計202試合
- * 通常銀河にて開催

3. 国内競技会に対する代表参加者の選定及び派遣

大会	代表参加者	主な戦績
国民体育大会(成年)	県代表チーム	'16 2位 '17 5位 '18 7位
国民体育大会(少年)	県代表チーム	'14 6位 '17 7位 '20 4位
日本アイスホッケー連盟会長杯	チームハセガワ	'13 優勝
全国大学選手権	神奈川大	本戦出場
関東大学リーグ	神奈川大、横浜国大	神奈川大 1部B 横国大 2部
全国高校選手権	慶應高、武相高	本戦出場
関東高校選手権	慶應高、武相高	'17 武相高3位
全国中学校アイスホッケー大会	県代表チーム	本戦出場
全国小学生アイスホッケー大会(高学年・低学年)	県代表チーム	'12 準優勝(高学年) '16 準優勝(低学年)
関東少年アイスホッケー大会(小学生)(中学生)	新横浜Jr、横浜スターズ、アイリズ	
全日本女子B C	ハセガワ 昭和大女子	

アジアリーグで活躍する神奈川県出身選手



横浜グリッツ



背番号38 GK
小野 航平
出身 横浜市
横浜アイリズ/武相高
横浜市在住



背番号20 FW
石井 秀人
出身 相模原市
相模原ドリームズ/新横浜ジュニア
相模原市在住

4. アイスホッケー普及及び技術力向上のための活動

全国・関東大会開催	開催実績	@
国民体育大会(アイスホッケー) (成年)(少年)	2018年	新横浜、浜銀
国民体育大会(アイスホッケー) 関東予選(成年)(少年)	2020年	新横浜、浜銀
関東高校アイスホッケー大会	2017年	銀河アリーナ

クリニック等	概要	21年度開催実績
ハウスリーグ	日ア連による関東地区のU16からU9までを対象とした個人スキル向上のためのクリニック	21/5 銀河アリーナにて開催 参加118名
U14・16関東ブロックキャンプ	日ア連による関東地区のU16、U12を対象としたレベル向上のためのクリニック	21/11 銀河アリーナにて開催 参加 90名
GKクリニック	GKのスキル向上のためのクリニック	
安全講習会	主に高校生に対する競技安全に関する講習会	
レフェリークリニック	レフェリーの技量向上のためのクリニック	

5. 神奈川県に於けるアイスホッケー競技の現状と課題

現状

競技人口も下げ止まり、既存の大会は開催できているものの、 将来を見据えての普及活動の充実にはいたっていない。

課題

- 普及・指導者育成のためのイベントが十分開催できていない。
- 技術力向上のためのイベントが開催できていない。
- 練習機会も十分ではない。
- 全国レベル関東レベルの大会の誘致による普及・技術力向上ができていない。
- 減少するリンクをフィギア、ショートトラック、カーリング、一般滑走で利用するため・・・
大会が夜 練習が夜中

最大のボトルネックはリンクの不足

6. 要望事項

東京を含む近県でのリンク減少のなか、アイスホッケーのみならずフィギア、ショートトラック、カーリングを含む氷上競技の普及と、競技者だけでなくその影響で一般滑走で体を動かすという広範なスポーツ振興という意味でも、銀河アリーナの存続をお願い致します。

銀河アリーナの位置関係として八王子市の大学キャンパスや寮からも近く(1時間以内)、大学チームの練習に最適であり、中高生女子関東選抜チームが練習しているように他府県との交流にも集まり易い事が他のスケートリンクより有利性があるのではないかと考察しております。

東京	東伏見アイスアリーナ	1時間
千葉	アクアリンクちば	1時間30分
埼玉	埼玉アイスアリーナ	1時間30分
栃木	霧降アイスアリーナ	2時間30分
茨城	笠松アイスアリーナ	2時間30分
山梨	小瀬アイスアリーナ	2時間30分

第 4 号議案 県連規約の改定

第 4 号議案

県連規約の改定について

1. 規約 第 8 章 第 18 条（加入）

【改定案】…第 5 項を新設する。

第 18 条第 5 項 加入団体はスポーツ安全保険もしくは同等の補償の保険に加入しなければならない。

【改定理由】

今期、第 69 回神奈川県アイスホッケー選手権では試合中の大きなけがが多く発生しました。

「パックが顔面に当たった」「スティックが顔面に当たり裂傷」「鎖骨骨折」など、チームから競技委員会へ報告・指導依頼があり、県連ではそれぞれの状況調査を行い必要な対応を行ってきました。

アイスホッケーはルールの上で中学生以上の男子はボディチェックがあり、女子を含むその他のカテゴリーでもボディコンタクトは認められています。

従って、ルール上ボディコンタクトにより負傷することがあり得るスポーツである事を理解した上でこの競技団体に登録し試合参加されています。

今般のように重傷事案が発生しても、原則として、負傷した選手ご自身の保険で対応され、相手選手やチームに請求しない事となります。相手選手、チーム、連盟への損害賠償は原則的にできません。

連盟としても、安全で安心して楽しめるスポーツとしてのアイスホッケー普及を目指し、レフェリー・オフィシャルをはじめ、選手も含め安全活動の確認を行ってまいります。

小・中・女子チームは大会要項でスポーツ安全保険への加入を大会参加条件としています。高校・大学チームは学校として対応しています。社会人チーム・オールドタイマーチームはこれまで加入を任意・努力義務としてきましたが、規約に記載することで加入義務とし、本代議員会に諮るものです。

第 5 号議案 新規加入チームの承認について

神奈川県アイスホッケー連盟 規約第 18 条に基づき、新規加入チームの提案をいたします。

新規加入チーム 1

部門 : アイスホッケー
種別 : 4 種(小・中学生)
所在地 : 神奈川県横浜市港北区篠原北
チーム名 : 慶應ジュニアアイスホッケークラブ
代表者名 : 塚本一貴
推薦チーム : 横浜ダイヤモンドズ

以上 1 チームについて理事会で審議した結果、規約に規定する要件を満たしているので、本代議員会にて加入の承認を受けます。

2021 年度事業報告

(自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日)

【理事会】

1	事業名	2020 年度 第 6 回理事会		
	期 日	2021/4/14	会 場	WEB 会議による開催
2	事業名	2020 年度 第 7 回理事会		
	期 日	2021/5/12	会 場	WEB 会議による開催
3	事業名	2020 年度 第 8 回理事会		
	期 日	2021/6/9	会 場	WEB 会議による開催
4	事業名	第 1 回関東地区アイスホッケー連絡協議会		
	期 日	2021/6/27	会 場	WEB 会議による開催
5	事業名	2020 年度代議員会		
	期 日	2021/6/27	会 場	HP から議案書配布、WEB 会議による開催
6	事業名	2021 年度 第 1 回理事会		
	期 日	2021/6/27	会 場	WEB 会議による開催
7	事業名	2021 年度 第 2 回理事会		
	期 日	2021/7/14	会 場	WEB 会議による開催
8	事業名	2021 年度 第 3 回理事会		
	期 日	2021/8/11	会 場	WEB 会議による開催
9	事業名	臨時理事会		
	期 日	2021/8/25	会 場	WEB 会議による開催
10	事業名	2021 年度 第 4 回理事会		
	期 日	2021/9/8	会 場	WEB 会議による開催
11	事業名	日ア連評議員会		
	期 日	2021/9/25	会 場	WEB 会議による開催
12	事業名	2021 年度 第 5 回理事会		
	期 日	2021/10/15	会 場	WEB 会議による開催
13	事業名	第 2 回関東地区アイスホッケー連絡協議会		
	期 日	2021/10/17	会場	WEB 会議による開催
14	事業名	2021 年度 第 6 回理事会		
	期 日	2021/11/10	会 場	WEB 会議による開催
15	事業名	2021 年度 第 7 回理事会		
	期 日	2021/12/8	会 場	WEB 会議による開催
16	事業名	2021 年度 第 8 回理事会		
	期 日	2022/1/12	会 場	WEB 会議による開催
17	事業名	2021 年度 第 9 回理事会		
	期 日	2022/2/9	会 場	WEB 会議による開催
18	事業名	2021 年度 第 10 回理事会		
	期 日	2022/3/9	会 場	WEB 会議による開催

【競技委員会関係】

1	事業名	2021 年後期ハマ銀アリーナ F 枠利用者会議		
	期 日	2021/6/19	会 場	WEB 会議による開催
2	事業名	2021 年後期ハマ銀アリーナ F 枠追加抽選		
	期 日	2021/9/20	会 場	WEB 会議による開催
3	事業名	2021 年後期ハマ銀アリーナ F 枠追加抽選		
	期 日	2021/10/25	会 場	WEB 会議による開催
4	事業名	第 69 回県選手権 監督会議		
	期 日	2021/11/14	会 場	WEB 会議による開催
5	事業名	第 69 回神奈川県アイスホッケー選手権大会(成年)		
	期 日	2021/12/8～2022/5/1	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
6	事業名	第 77 回国体神奈川県予選会		
	期 日	コロナ感染拡大により中止	会 場	
7	事業名	2022 年前期ハマ銀アリーナ F 枠利用者会議		
	期 日		会 場	WEB 会議による開催

【普及委員会(小・中・女子)】

1	事業名	JIHF ハウスリーグトライアル(神奈川県)		
	期 日	2021/4/24	会 場	相模原市銀河アリーナ
	内 容	各年代とレベルに合わせたリンクサイズでの 3on3 クロスアイス形式		
2	事業名	第 31 回春季神奈川県小中学生・女子アイスホッケー選手権大会(高学年・中学生の部)		
	期 日	2021/4/25	会 場	相模原市銀河アリーナ
	内 容	小学生高学年の部(4 チーム) 優勝:新横浜ジュニア、準優勝:ヨコハマスターズ 中学生の部(4 チーム) 優勝:新横浜ジュニア、準優勝:アイリンズ		
3	事業名	第 31 回春季神奈川県小中学生・女子アイスホッケー選手権大会(女子の部)		
	期 日	4/24、5/1、5/8	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	新型コロナウイルス感染防止ため、開催を中止		
4	事業名	第 33 回横浜市長杯(女子)		
	期 日	2021/11/7～28	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	新型コロナウイルス感染防止ため、開催を中止		
5	事業名	第 33 回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会		
	期 日	2021/11/4～28	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	小学生高学年の部(4 チーム) 優勝:新横浜ジュニア、準優勝:ヨコハマスターズ 中学生の部(4 チーム) 優勝:新横浜ジュニア、準優勝:ヨコハマスターズ		
6	事業名	第 33 回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会(低学年の部)		
	期 日		会 場	
	内 容	U9 クロスアイス 新型コロナウイルス感染防止ため、大会開催を中止		
7	事業名	第 9 回 全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2020)関東ブロック予選		
	期 日	2022/2/5	会 場	群馬県前橋市
	内 容	新型コロナウイルス感染防止ため、大会開催を中止		

8	事業名	第9回 全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2022)		
	期 日		会 場	(神奈川県横浜市)
	内 容	新型コロナウイルス感染防止ため、大会開催を中止		

【普及委員会(インライン)】

1	事業名	第24回関東インラインホッケー選手権大会(A・B・L pool)		
	期 日		会 場	
	内 容	新型コロナウイルス感染防止ため、大会開催を中止		

【普及委員会(オールドタイマー)】

1	事業名	交流戦		
	期 日	2021/5/15~7/24	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	新型コロナウイルス感染防止ため、大会開催を中止		

【強化委員会(小中学生)】

1	事業名	JTB杯第24回全国選抜小学生アイスホッケーサマー大会		
	期 日	2021/7	会 場	北海道苫小牧市
	内 容	新型コロナウイルスの影響で開催中止		
2	事業名	令和3年度関東中学校アイスホッケー大会兼第42回全国中学校アイスホッケー競技会関東代表決定戦		
	期 日	2021/12/18~19	会 場	栃木県日光市
	内 容	関東準優勝・本戦出場権獲得		
3	事業名	第42回全国中学校体育大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2022/1/21~23	会 場	北海道釧路市
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
4	事業名	第10回全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2021)関東予選		
	期 日	2022/2	会 場	群馬県前橋市
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
5	事業名	第17回風越カップ全日本少年アイスホッケー大会(小学生)関東予選		
	期 日	2022/3/5~6	会 場	山梨県甲府市
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
6	事業名	第10回全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2021)		
	期 日	2022/3/12~13	会 場	神奈川県横浜市
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
7	事業名	第16回全日本少年アイスホッケー大会(中学生)		
	期 日	2022/3/25~29	会 場	北海道釧路市
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
8	事業名	第17回風越カップ全日本少年アイスホッケー大会(小学生)		
	期 日	2022/3/26~29	会 場	長野県軽井沢町
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		

【強化委員会(女子)】

1	事業名	JOC ジュニアオリンピックカップ大会第16回日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会		
	期 日	2021/11/27~28	会 場	栃木県日光市
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		

2	事業名	第 41 回全日本女子アイスホッケー選手権大会 C グループ 関東ブロック予選会		
	期 日	2021/1/30~31	会 場	ダイードリンクアイスアリーナ
	内 容	日本体育大学が出場権獲得		
3	事業名	ジュニアレディースアイスホッケー長野大会(小学生女子)		
	期 日		会 場	長野県軽井沢
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
4	事業名	第 41 回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B) (C)		
	期 日	2022/3/18~21	会 場	北海道
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		

【強化委員会(高校)】

1	事業名	第 69 回県選手権(高校の部)兼全国高校選抜大会代表選考会		
	期 日	2021/6/5	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	武相 2-3(GWS)慶應義塾 慶應義塾は全国選抜大会出場権を獲得		
2	事業名	第 77 回国民体育大会神奈川県予選会(少年の部)		
	期 日	2021/11/3	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	慶應義塾 0-5 武相 ※全国高校総体県予選に兼ねて開催		
3	事業名	第 77 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会関東ブロック予選		
	期 日	2021/12/3~5	会 場	栃木県日光市
	内 容	神奈川県 11-3 山梨県、神奈川県 2-2 東京都、神奈川県 5-4(GWS)茨城県 ※本大会出場権獲得		
4	事業名	第 77 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2022/1/26~1/30	会 場	栃木県日光市
	内 容	第4位入賞		

【強化委員会(大学)】

1	事業名	大学強化試合		
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
2	事業名	秩父宮杯 第 68 回 関東大学アイスホッケー選手権大会		
	期 日	2021/4/17~6/20	会 場	
	内 容	神奈川大学 A グループ 13 位		
3	事業名	2021 年度 関東大学アイスホッケーリーグ戦(特別大会)		
	期 日	2021/10/16~12/19	会 場	ダイードリンクアイスアリーナ
	内 容	神奈川大学 Div. I グループ B 第 6 位 横浜国立大学 Div. III グループ 準優勝 聖マリアンナ医科大学 出場辞退		
4	事業名	第 94 回 日本学生氷上競技選手権大会		
	期 日	2021/12/24~12/29	会 場	帯広市
	内 容	神奈川大学 1 回戦敗退		
5	事業名	第 22 回 大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会		
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		
6	事業名	第 64 回 東日本医科学学生総合体育大会		
	内 容	新型コロナウイルスの影響で中止		

【強化委員会(成年)】

1	事業名	第 77 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会関東ブロック予選		
	期 日	2021/12/3～5	会 場	栃木県日光市 日光霧降アイスアリーナ
	内 容	代表決定戦 2 位通過、国体本戦出場決定		
2	事業名	第 77 回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2022/1/26～30	会 場	栃木県日光市 日光霧降アイスアリーナ他
	内 容	6 位		

【レフェリー委員会】

1	事業名	日ア連全国レフェリー委員長会議		
	期 日	2021/9/20	会 場	ZOOM によるリモート会議
	内 容	2021-22 シーズンIIHFルール変更に伴う説明と対応について		
2	事業名	神奈川レフェリークリニック		
	期 日	2021/10/3・7	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	公認・連絡員対象の新ルール説明会		

【日ア連事業委員会・アジアリーグ】

1	事業名	アジアリーグジャパンカップ		
	期 日	2021/9/18～2022/3/6	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
	内 容	横浜 GRITS ホームゲーム 14 試合		
2	事業名	U14/16 東京・関東ブロックキャンプ		
	期 日	2021/11/13～14	会 場	相模原銀河アリーナ
	内 容	1 日開催で、それぞれ 2 グループにて開催。		

2022 年度事業計画

(自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日)

【理事会】

1	事業名	2022 年度理事会		
	期 日	各月第 2 水曜開催	会 場	WEB 理事会
	内 容	新型コロナウイルス感染防止のためリモート会議による開催		
2	事業名	2022 年度 代議員会		
	期 日	2022/6/26	会 場	WEB 代議員会
	内 容	新型コロナウイルス感染防止のためリモート会議による開催		
3	事業名	関東地区アイスホッケー連絡協議会		
	期 日	年 3 回程度開催	会 場	幹事は埼玉県ア連が担当
4	事業名	2022 年度日ア連評議員会		
	期 日	未定	会 場	未定

【競技委員会関係】

1	事業名	第 70 回県選手権 幹事チーム引継ぎ		
	期 日	2022/7	会 場	ZOOM によるリモート会議
2	事業名	第 70 回県選手権・第 78 回国体県予選会 監督会議		
	期 日	2022/8	会 場	ZOOM によるリモート会議
3	事業名	第 70 回神奈川県アイスホッケー選手権大会(成年)		
	期 日	2022/9～2023/3	会 場	横浜銀行アイスアリーナ・KOSÉ 新横浜スケートセンター
4	事業名	第 78 回国体県予選会 B pool 組合せ抽選会		
	期 日	2022/8	会 場	ZOOM によるリモート会議
5	事業名	2022 年度前期ハマ銀アリーナ F 枠利用者会議		
	期 日	2022/	会 場	ZOOM によるリモート会議
6	事業名	第 78 回国体神奈川県予選会(成年の部)		
	期 日	2022/9～12	会 場	横浜銀行アイスアリーナ・KOSÉ 新横浜スケートセンター
7	事業名	2022 年度後期ハマ銀アリーナ F 枠利用者会議		
	期 日	2022/9	会 場	ZOOM によるリモート会議

【普及委員会(小・中・女子)】

1	事業名	第 32 回春季神奈川県小中学生・女子アイスホッケー選手権大会		
	期 日	2022/4/23～24	会 場	相模原市銀河アリーナ
	内 容	小学生高学年の部(5 チーム) 優勝:新横浜ジュニア A、準優勝:ヨコハマスターズ 中学生の部(4 チーム) 優勝:新横浜ジュニア、準優勝:アイリンズ		
2	事業名	第 32 回春季神奈川県小中学生・女子アイスホッケー選手権大会(女子の部)		
	期 日	2022/4/23～24	会 場	相模原市銀河アリーナ
	内 容	優勝:昭和大学ブルーウィンズ 準優勝:ハセガワウィッチーズ		
3	事業名	JDHL ハウスリーグおよびアイスホッケー体験会		
	期 日	5～8 月 毎月 1 回	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
	内 容	U9 クロスアイスゲーム		
4	事業名	第 34 回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会		
	期 日	未定	会 場	相模原市銀河アリーナ

5	事業名	第 34 回秋季神奈川県小中学生アイスホッケー選手権大会(低学年の部)		
	期 日	未定	会 場	未定
6	事業名	第 34 回横浜市長杯兼第 42 回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)神奈川県予選会		
	期 日	未定	会 場	横浜銀行アイスアリーナ

【普及委員会(インライン)】

1	事業名	第 25 回関東インラインホッケー選手権大会(A・B・L pool)		
	期 日	2022/6/4~5	会 場	未定
	内 容			

【普及委員会(オールドタイマー)】

1	事業名	交流戦		
	期 日	2022/7/2~8/6	会 場	ハマ銀アリーナ
	内 容	オールドチームによる交流試合		

【強化委員会(小中学生)】

1	事業名	JTB杯第 25 回全国選抜小学生アイスホッケーサマー大会		
	期 日	中止	会 場	北海道苫小牧市
2	事業名	令和 4 年度関東中学校アイスホッケー大会兼第 43 回全国中学校アイスホッケー競技会関東代表決定戦		
	期 日	2022/12 未定	会 場	未定
3	事業名	第 43 回全国中学校アイスホッケー競技会		
	期 日	2023/1 未定	会 場	青森県八戸市
4	事業名	第 10 回全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2022)関東予選		
	期 日	2023/2 未定	会 場	群馬県前橋市
5	事業名	第 17 回風越カップ全日本少年アイスホッケー大会(小学生)関東予選		
	期 日	2023/2 未定	会 場	未定
6	事業名	第 10 回全日本小学生低学年選抜大会(太陽生命 U9 ジャパンカップ 2022)		
	期 日	2023/3 未定	会 場	未定
7	事業名	第 16 回全日本少年アイスホッケー大会(中学生)		
	期 日	2023/3 未定	会 場	北海道釧路市
8	事業名	第 17 回風越カップ全日本少年アイスホッケー大会(小学生)		
	期 日	2023/3 未定	会 場	長野県軽井沢町

【強化委員会(女子)】

1	事業名	第 42 回全日本女子アイスホッケー選手権大会(B)関東ブロック予選会		
	期 日	未定	会 場	未定
2	事業名	JOC ジュニアオリンピックカップ大会 第 17 回 日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会		
	期 日	2022/11/19~20	会 場	栃木県日光市
3	事業名	第 42 回 全日本女子アイスホッケー選手権(B)		
	期 日	未定	会 場	未定
4	事業名	ジュニアレディースアイスホッケー長野大会		
	期 日	未定	会 場	長野県軽井沢市

【強化委員会(高校)】

1	事業名	第 70 回県選手権(高校の部)兼全国高校選抜大会県代表選考会		
	期 日	2022/6/2	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
2	事業名	第 78 回国民体育大会神奈川県予選会(少年の部)		
	期 日	2022/9 月上旬	会 場	
3	事業名	第 78 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会関東ブロック予選		
	期 日	2022/12 月	会 場	
4	事業名	第 78 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2023/1 月下旬	会 場	青森県八戸市

【強化委員会(大学)】

1	事業名	大学強化試合		
	期 日	中止	会 場	
2	事業名	秩父宮杯第 69 回 関東大学アイスホッケー選手権大会		
	期 日	2022/4/9~6/18	会 場	ダイードリンコアイスアリーナ
	内 容	神奈川大学 A グループ 13 位 横浜国立大学 B グループ**位		
3	事業名	2022 年度関東大学アイスホッケーリーグ戦		
	期 日	未定	会 場	ダイードリンコアイスアリーナ
4	事業名	第 23 回大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会		
	期 日	未定	会 場	未定(苫小牧市)
5	事業名	第 65 回東日本医科学生総合体育大会 アイスホッケー競技		
	期 日	未定	会 場	
6	事業名	第 95 回日本学生氷上競技選手権大会(インカレ)		
	期 日	未定	会 場	

【強化委員会(成年)】

1	事業名	第 78 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会関東ブロック予選		
	期 日	2022/12	会 場	未定
2	事業名	第 78 回 国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会		
	期 日	2023/1 月下旬	会 場	青森県八戸市

【レフェリー委員会】

1	事業名	神奈川レフェリークリニック		
	期 日	2022/9/11・16	会 場	横浜銀行アイスアリーナ
2	事業名	日ア連 4 人制レフェリー講習会		
	期 日	2022/未定	会 場	未定
3	事業名	日ア連関東レフェリークリニック		
	期 日	2022/未定	会 場	未定

【日ア連事業委員会・アジアリーグ】

1	事業名	アジアリーグ 横浜 GRITS ホームゲーム		
	期 日	未定	会 場	KOSÉ 新横浜スケートセンター
2	事業名	U14/16 東京・関東ブロックキャンプ		
	期 日	未定	会 場	相模原銀河アリーナ

登録者数	アイスホッケー		インラインホッケー		合計
	役員数	選手数	役員数	選手数	
2000年度	105	1,670	0	156	1,931
2001年度	143	1,662	0	136	1,941
2002年度	165	1,760	2	132	2,059
2003年度	164	1,765	7	156	2,092
2004年度	170	1,841	6	156	2,173
2005年度	198	1,788	1	114	2,101
2006年度	223	1,797	3	35	2,058
2007年度	302	1,747	0	17	2,066
2008年度	262	1,865	1	42	2,170
2009年度	260	1,743	1	14	2,018
2010年度	260	1,683	6	27	1,976
2011年度	241	1,564	6	30	1,841
2012年度	197	1,674	10	42	1,923
2013年度	199	1,489	10	60	1,758
2014年度	210	1,319	13	75	1,617
2015年度	187	1,234	16	82	1,519
2016年度	205	1,290	18	79	1,592
2017年度	177	1,215	14	76	1,482
2018年度	196	1,207	15	77	1,495
2019年度	199	1,310	18	86	1,613
2020年度	182	1,102	0	0	1,284
2021年度	180	1,126	0	0	1,306
2020～2021 増減	-2	24	0	0	22

カテゴリー	種別	年度	チーム数	役員数	選手数	
アイスホッケー	一般	2013	42	112	1,007	
		2014	41	113	924	
		2015	42	100	858	
		2016	40	121	884	
		2017	40	99	803	
		2018	39	94	781	
		2019	42	106	871	
		2020	38	89	743	
		2021	40	100	785	
		大学	2013	3	20	59
			2014	3	29	62
			2015	4	35	71
	2016		4	32	79	
	2017		4	25	80	
	2018		4	39	79	
	2019		4	35	92	
	2020		4	42	66	
	2021		3	27	38	
	高校		2013	3	9	68
		2014	3	16	69	
		2015	3	11	53	
2016		3	17	51		
2017		3	9	48		
2018		3	7	42		
2019		3	11	44		
2020		3	6	43		
2021		3	6	41		
中学		2013	7	12	69	
	2014	6	17	55		
	2015	5	18	54		
	2016	5	8	51		
	2017	5	8	55		
	2018	5	12	57		
	2019	5	4	65		
	2020	5	6	58		
	2021	5	8	65		
	小学	2013	7	36	139	
2014		5	22	124		
2015		5	13	108		
2016		5	18	128		
2017		5	26	141		
2018		5	28	147		
2019		5	30	136		
2020		5	21	123		
2021		5	23	139		
女子		一般	2013	4	10	58
	2014		4	13	62	
	2015		3	10	47	
	2016		3	9	54	
	2017		3	10	45	
	2018		4	16	58	
	2019		4	13	60	
	2020		4	18	69	
	2021		3	16	58	
	オールド		2013	1	0	35
		2014	1	0	23	
		2015	1	0	43	
		2016	1	0	43	
	オールド	2017	1	0	43	
2018		1	0	43		
2019		1	0	42		
2020		0	0	0		
2021		0	0	0		

カテゴリー	種別	年度	チーム	役員数	選手数
インラインホッケー	一般	2013	2	3	28
		2014	2	4	31
		2015	2	7	38
		2016	2	7	32
		2017	2	5	33
		2018	2	3	39
		2019	2	9	43
		2020	0	0	0
		2021	0	0	0
		女子	2013	2	7
	2014		2	8	42
	2015		3	9	44
	2016		3	11	47
	2017		3	9	43
	2018		3	12	38
	2019		3	9	43
	2020		0	0	0
	2021		0	0	0

2021年-2022年 レフェリー派遣一覧表

		内 容				
1	事業名 期日・会場 内容等	日本アイスホッケー連盟主催 全国委員長会議 2021年9月20日 参加者名 佐々木				
2	その他派遣 事業	期 日	大会名	開催場所	派遣人数	
		2021年				
		12月3日～5日	第77回 国体 ブロック大会(成年・少年)	日 光(栃木県)	1名 鎌田(帯同)	
		12月17日～19日	第30回 関東高校選手権	ひたちなか(茨城県)	2名 本田・佐々木	
		12月18日～19日	第43回 全国中学関東予選	日 光(栃木県)	1名 鎌田(帯同)	
		12月25日～29日	第94回 インカレ	帯 広(北海道)	派遣なし	
		2022年				
		1月8日～10日	関東少年I・H大会	日 光(栃木県)	3名 木村(帯同)・吉田・桑田	
1月17日～21日	第71回 インターハイ	八 戸(青森県)	派遣なし			
1月21日～23日	全国中学校	釧 路(北海道)	派遣なし			
1月26日～30日	第77回 栃木国体 成年・少年	日 光(栃木県)	4名 吉田・中島・桑田・佐々木			
2月24日～27日	第56回全日本 アイスホッケー選手権大会 (B)	帯 広(北海道)	派遣なし			
3月4日～6日	第10回 女子日本リーグ	帯 広(北海道)	派遣なし			
3月18日～21日	第41回全日本女子 アイスホッケー選手権大会	札幌・帯広(北海道)	派遣なし			
3月25日～29日	第15回全日本中学 アイスホッケー大会	釧 路(北海道)	派遣なし			
3月26日～29日	第16回風越カップ	軽井沢(長野県)	派遣なし			
3	アジアリーグ	ジャパンカップ	本田			

神奈川県アイスホッケー連盟規約

第1章 総則

(名称)

第1条 この団体は、1976年（昭和51年）4月24日に神奈川県アイスホッケー連盟（KANAGAWA-KEN ICE HOCKEY FEDELATION 略号 K.I.H.F）として設立する。

(事務所)

第2条 この団体は、事務所を横浜市神奈川区広台太田町1-1番地に置く。

第2章 目的および事業

(目的)

- 第3条
1. この団体は、神奈川県におけるアイスホッケーおよびインラインホッケー団体を総括し、かつこれを代表する唯一のアマチュア団体であってアイスホッケーおよびインラインホッケーの普及および振興を図り広く県民の健全な発達に寄与することを目的とする。
 2. この規約の以下の条文にある「アイスホッケー」は「インラインホッケー」を含むものとする。

(事業)

- 第4条 この団体は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 神奈川県におけるアイスホッケーの普及および、指導者の養成
 2. 神奈川県におけるアイスホッケーのアマチュア精神の確立
 3. アイスホッケーに関する調査・研究
 4. アイスホッケーに関する神奈川県選手権大会の開催およびその他の競技会の開催
 5. アイスホッケーに関する国内競技会および日本アイスホッケー連盟等に対する代表参加者の選定および派遣
 6. アイスホッケーに関する選手の競技力の向上
 7. 日本アイスホッケー連盟に対し、神奈川県のアマチュアアイスホッケー界を代表して加盟すること
 8. 財団法人神奈川県体育協会に対し、アマチュアアイスホッケー界を代表して加盟すること
 9. その他、この団体の目的を達成するために必要な事業

第3章 役員

(役員)

第5条 本団体には、次の役員を置く。

- | | | | | |
|----|-----|---|------|---------------|
| 1. | 会長 | 1名 | 副会長 | 若干名 |
| 2. | 理事長 | 1名 | 副理事長 | 若干名 |
| 3. | 理事 | 総数を20名以内とし(うち会計理事2名含む)、会長指名理事8名以上、ブロック選出理事10名とする。 | | |
| | | ブロック別選出理事は下記のとおりとする | | |
| | | 1・7種 | 7名 | (一般・女子) |
| | | 2種 | 1名 | (大学) |
| | | 3種 | 1名 | (高等学校、高校生チーム) |
| | | 4、5、6種 | 1名 | (小・中学生) |
| | | 計 | 10名 | |
| 4. | 監事 | 2名 | | |

(役員を選任)

- 第6条
1. 会長及び副会長は理事会で推挙されたものを代議員会の承認により決定する。
 2. 理事および監事は代議員会で選任し、理事長および副理事長は理事の互選により定める。
 3. 理事は代議員を兼ねることはできない。

(役員職務)

- 第7条
1. 会長はこの団体の業務を総理し、この団体を代表する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。
 3. 理事長は会長を補佐し、理事会の議決に基づき団体の業務を掌握する。
 4. 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を代理する。
 5. 理事は理事会を組織し、この団体の業務を議決して執行する。
 6. 会長および副会長は、必要に応じて理事会に出席することができる。

(役員任期)

- 第8条
1. この団体の役員任期は2年とし、再任を妨げない。
 2. 補欠または増員により選任された役員任期は、前任者または現任者の残任期間とする。
 3. 役員は、その任期終了後でも後任者が就任するまではなおその職務を行う。

(役員解任)

- 第9条
- 役員は次の各号に該当するときは、理事現在数及び代議員現在数の各々の3分の2以上の議決により役員を解任することができる。
1. 心身の故障のため、職務の執行に堪えないと認められるとき。
 2. 職務の義務違反、その他役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき。

第4章 代議員

(代議員の選出)

第10条 この連盟の代議員の選出は下記のとおりとする。

- ・ 連盟加盟チームは各チーム1名の代議員を選出するものとする。
- ・ 4種登録チームで運営母体が同一である小学生チーム及び中学生チームは、併せて1名の代議員とする。
- ・ インライン登録チームは代議員を選出しない。

第5章 会計

(会計)

第11条 この団体の会計年度は4月1日に始まり、3月31日に終わる。

第6章 会議

(代議員会)

第12条 代議員会はこの団体の最高議決機関として開催し、重要事項を討議する。

1. 事業計画及び収支予算についての承認
2. 事業報告及び収支決算についての承認
3. 基本財産についての事項
4. 本条第1号、第3号に定めるものを除くほか、新たな義務の負担及び権利の放棄についての事項
5. 規約の改定
6. 役員を選定
7. 加盟・脱退・賞罰に関する事項
8. この団体の解散に関する事項
9. その他、この団体に関する重要事項で理事会において必要と認める事項

(理事会)

第13条 理事会は、この団体の事業の運営に関し審議決定し、次の事項を付議する。

1. この団体の事業の企画及びその遂行に関する事項
2. アイスホッケーに関する国内競技および日本アイスホッケー連盟等に対する代表参加者の選考及び推薦
3. 名誉会長・顧問・参与の推薦
4. 専門委員会設置に関する事項
5. その他、この団体の運営に関する事項

(会議の招集)

- 第 14 条 1. 代議員会は会長が招集し少なくとも 7 日前に日時、場所その会議の目的たる事項を代議員あて通告する。
2. 理事会は、会長の承認を経て理事長が招集する。
3. 会長が認めた場合または、構成員の 3 分の 1 以上から会議に付議すべき事項を示して招集を請求された時は、その要求のあった 21 日以内に臨時代議員会または臨時理事会を開催しなければならない。
4. 代議員会の議長は会長とし、理事会の議長は理事長とする。

(定足数)

- 第 15 条 1. 代議員及び理事会の定足数は構成員の過半数とする。ただし当該事項につき書面をもってあらかじめ意思を表示した欠席者は定足数の上で出席者とみなす。
2. 代議員会及び理事会の議事はこの規約に別段の定める場合を除くほか、議決権を有する出席者の過半数を持って決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(議事録)

- 第 16 条 すべての会議には議事録を作成し、議長および出席者の代表 2 名以上の署名押印の上これを保存する。

第 7 章 専門委員会

(専門委員会)

- 第 17 条 1. この団体の任務遂行のために必要あるときは、理事会の議決に基づき専門委員会をおくことができる。
2. 前項の規定による専門委員会の運営に関する規則は、理事会の議決を経て別に定める。

第 8 章 加入団体

(加入)

- 第 18 条 1. 次に掲げる団体で、この団体の趣旨に賛同するものは、理事会及び代議員会における承認を経て加入団体となることができる。
- ① 神奈川県に所在地を有するアイスホッケーに関する団体
- ② 神奈川県に所在地を有する大学の OB で全国的に組織されたアイスホッケーに関する団体
2. 新規に加入しようとする団体は所定の額の加入金を納めるものとする。またその名称は既加入チームの名称と混同されないようにしなければならない。
3. 新規に加入しようとする団体は、既加入団体から本連盟規約に照らしてふさわしいチームである旨の推薦を受けなければならない。
4. チーム事情により活動を停止せざるを得なくなった団体は、休部の申請をすることができる。

(資格喪失)

第 19 条 加入団体は、次の事由によってその資格を喪失する。

1. 脱退
2. 加入団体の解散
3. 除名

(脱退)

第 20 条 加入団体が脱退しようとするときは、その理由を付して脱退届を提出し代議員会の承認を経なければならない。

(除名)

第 21 条 加入団体が次の各号に該当するときは、代議員会の議決を経て会長がこれを除名することができる。

1. この団体の加入団体としての義務に違反したとき
2. この団体の名誉を傷つけ、又はこの団体の目的に違反する行為があったとき
3. 負担金を 2 年以上滞納したとき

(負担金)

第 22 条 加入団体は毎年別に定める負担金を当該年度の 6 月末日までに納入するものとする。

第 9 章 規約の変更ならびに解散

(規約の変更)

第 23 条 この規約は代議員会出席人員の 3 分の 2 以上の議決を経なければ変更できない。

(解散)

第 24 条 この団体の解散は、理事現在数及び代議員現在数各々の 4 分の 3 以上の議決を経なければならない。

(残余財産の処分)

第 25 条 この団体の解散に伴う残余財産は、理事現在数及び代議員現在数各々の 4 分の 3 以上の決議を必要とし、この団体の目的に類似の目的を有する公益法人に寄付するものとする。

神奈川県アイスホッケー連盟規約

施行細則

1999.2.27

第3章 第6条 (役員を選任)

理事及び監事の選任方法

[ブロック選出理事]

- ① 理事長は代議員会に先立って、ブロック別会議を招集する。
- ② 理事への立候補者は連盟登録者に限る。
- ③ 立候補者は改選期のブロック別会議の10日前までに事務局にその旨を届け出なければならない。
- ④ 事務局は届け出のあった立候補者名を、ブロック会議までに当該ブロック所属の各チームへ通達するものとする。
- ⑤ ブロック別会議では理事候補を選出し、代議員会で承認される。
- ⑥ ブロック別会議での選出方法は所属各チーム代議員の合意による。

[会長指名理事]

- ・ 本連盟運営の円滑化を目的として、会長は連盟登録者または有識者などから8名以上10名以内で理事候補を指名する。
- ・ 会長の指名する理事候補は代議員会で承認される。

[監事]

- ・ 理事会の推薦を受け、代議員会で承認される。
- ・ 監事に推薦されるものは連盟登録者に限る。
- ・ 改選期にあたっては、改選前の理事会において監事を推薦する。

第4章 第10条 (代議員の選出と職務)

- ・ 1、2、3、4、7種の団体は各チーム1名の代議員を選出する
- ・ 代議員は各チームの代表者として代議員会に出席し、連盟の運営に関与することができる。
- ・ 代議員は自らが代議員会に出席できない時、同チームの代理出席者を参加させ、その議決権を委任することができる。

第4章 第11条 (会計監査)

- ・ 監事は連盟の会計執行状況について監査を行い、代議員会でその結果を報告する。
- ・ 監事は会計執行状況を掌握するために、理事会に対して必要に応じて関係書類の提出を求めることができる。

第7章 第17条 (専門委員会)

- ・ 連盟の運営にあたり、以下のように専門委員会を設置する。

◇総務委員会

- ・総務委員会
- ・会計委員会
- ・広報委員会
- ・審議委員会
- ・医事委員会

◇競技委員会

- ・県主催事業委員会
- ・大会運営幹事会

◇普及委員会

- ・小学生
- ・中学生
- ・女子
- ・インライン
- ・オールドタイマー

◇強化委員会

- ・小中学生
- ・高校
- ・大学
- ・女子
- ・一般
- ・選手選考委員会

◇レフェリー委員会

◇日ア連事業本部

- ・ 委員会の委員は、連盟登録者または有識者から担当理事の推薦を受け、理事会で委任する。

第8章 第18条

(加入)

[加入団体の種別]

- ・ 1種 一般団体
- ・ 2種 単独の大学を代表する団体
- ・ 3種 単独の高校を代表する団体及び高校生で編成される団体
- ・ 4種 アイスホッケー・スポーツ少年団またはこれに準ずる団体
- ・ 5種 単独の中学校を代表する団体
- ・ 6種 単独の小学校を代表する団体
- ・ 7種 女子選手で編成される団体

[加入金]

- ・ 新規に加入しようとする団体は加入金として20万円を納入するものとする。

[レフェリー]

- ・ 1種・7種加入団体はレフェリーを登録し、レフェリー委員会の指導の元活動するものとする。

[休部]

- ・ 休部しようとする団体は、連盟にその旨を届け出て、理事会で承認されれば3年間を限度として休部扱いとすることができる。その間に活動を再開した場合は新規加入金の必要はない。
- ・ 休部中は連絡先として最低1名の登記会員を登録するものとする。

[活動の再開]

休部後に活動を再開しようとする団体は連盟にその旨を届け出て、正規の連盟登録または追加登録を経て、活動を再開することができる。

神奈川県アイスホッケー連盟 2021-2022 役員体制
2022組織図

会 長	藤木 幸太			
顧 問	小西 仁、長谷川 清、福田 典夫			
理 事 長	金子 精司			
副理事長	伊藤 一、柏木 満、中島 透(理事長代行)、宮本 淳平			
理 事	石山 卓男、内田 貴典、江守 永、鍵和田 和明、菊地 拓海、佐々木 暁、 天明 太郎、西村 三雄、長谷川 宜彦、畑中 和幸、松田 圭介、三浦 浩幸、 水原 健司、吉田 見登留、渡邊 百合子			
監 査	飯田 松男、石塚 亮平			
総務本部		委員長	副委員長	委員
本部長 伊藤 一	総務委員会	伊藤 一	宮本 淳平	内田 貴典 鍵和田 和明
	会計委員会	長谷川 宜彦	水原 健司	宮本 淳平
	審議委員会	金子 精司	伊藤 一	吉田 見登留
	懲戒委員会	中島 透	佐々木 暁	伊藤 一
	広報委員会	長谷川 宜彦	石山 卓男	内田 貴典
医事委員会	江守 永	三辺 武幸	飯田 松男 東山 祐介 芳賀 秀郷	
競技・強化本部		委員長	副委員長	委員
本部長 長谷川 宜彦	競技委員会	内田 貴典	伊藤 一	飯田 松男 石山 卓男 三浦 浩幸
	強化委員会(成年)	松田 圭介	水原 健司	天明 太郎 吉田 見登留
	強化委員会(大学)	石山 卓男	松田 圭介	中島 弘康
	強化委員会(高校)	菊地 拓海	松田 圭介	水原 健司
	強化委員会(小・中)	吉田 見登留	中島 透 水原 健司	調整中
強化委員会(女子)	水原 健司	畑中 和幸	渡邊 百合子 長谷川 愛 坪山 睦 香川 貴博	
レフェリー委員会		委員長	副委員長	委員
	レフェリー委員会	佐々木 暁	畑中 和幸	佐藤 仁衣奈 山本 秀彦 吉田 見登留
普及本部		委員長	副委員長	委員
本部長 宮本 淳平	普及委員会(小・中・女子)	水原 健司	渡邊 百合子 中島 透	畑中 和幸 佐藤 茂之 天明 太郎 吉田 見登留 堀越 彰子
	オールドタイマー委員会	鍵和田 和明	西村 三雄	長谷川 清
	インライン委員会			
日ア連事業本部		委員長	副委員長	委員
本部長 金子 精司	日ア連事業委員会	長谷川 宜彦	石山 卓男	伊藤 一 柏木 満 中島 透 三浦 浩幸
	日ア連評議委員	宮本 淳平		
	日ア連評議員選定委員	宮本 淳平		
	日ア連育成委員	長谷川 宜彦		
	日ア連競技事業委員	長谷川 宜彦(埼玉県ア連が選出しない場合)		
	日ア連生涯事業委員	(千葉県ア連選出)		
	関東地区IH連絡協議会	金子 精司、長谷川 宜彦		
日ア連連絡責任者	伊藤 一・鍵和田 和明 (登録業務) 長谷川 宜彦・三浦 浩幸(登録業務を除く)			

2021-2022 強化委員会練習日程

日付	曜	開始時間	場 所	担当委員会	日付	曜	開始時間	場 所	担当委員会
21.1017	日	17:00	銀河	強化(成年)	21.1011	月	20:00	ハマ銀	強化(小・中)
21.1104	木	18:15	ハマ銀	強化(高校)	21.1012	火	20:00	ハマ銀	強化(小・中)
21.1107	日	21:30	新横浜	強化(成年)	21.1016	土	17:00	銀河	強化(小・中)
21.1123	火	22:00	新横浜	強化(成年)	21.1018	月	20:00	ハマ銀	強化(小・中)
21.1123	火	10:00	新横浜	強化(高校)	21.1019	火	20:00	ハマ銀	強化(小・中)
21.1125	木	18:15	ハマ銀	強化(高校)	21.1025	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
21.1127	土	22:30	新横浜	強化(成年)	21.1026	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
21.1128	日	20:00	新横浜	強化(成年)	21.1101	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
21.1128	日	18:15	新横浜	強化(高校)	21.1102	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
21.1218	土	22:15	新横浜	強化(成年)	21.1103	水	20:00	銀河	強化(女子)
22.0108	土	22:30	ハマ銀	強化(成年)	21.1108	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
22.0113	木	18:30	ハマ銀	強化(高校)	21.1115	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
22.0115	土	22:30	ハマ銀	強化(成年)	21.1116	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
22.0116	日	21:45	新横浜	強化(成年)	21.1122	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
22.0122	土	14:45	新横浜	強化(高校)	21.1123	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					21.1129	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					21.1130	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					21.1206	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					21.1207	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					21.1213	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					21.1221	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					21.1227	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					21.1228	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0110	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0111	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0116	日	20:00	銀河	強化(女子)
					22.0117	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0118	火	18:30	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0118	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0120	木	18:30	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0124	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0125	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0201	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0206	日	17:15	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0207	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0208	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0212	土	20:00	銀河	強化(女子)
					22.0212	土	21:45	銀河	強化(女子)
					22.0213	日	17:15	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0214	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0215	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0221	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0222	火	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0228	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0307	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)
					22.0313	日	20:00	銀河	強化(女子)
					22.0313	日	21:45	銀河	強化(女子)
					22.0314	月	20:45	ハマ銀	強化(小・中)

2021年度 全国中学校アイスホッケー大会
神奈川県代表メンバー

Pos	No.	名前	フリガナ	学年	学校名	所属チーム
GK	44	山林 慈英	ヤマバヤシ ジェイ	2	慶應義塾普通部	高田馬場アトムズ
GK	70	樋口 諄	ヒグチ シュン	2	横浜市立浦島丘中学校	ヨコハマスターズ
DF	6	土井 清太郎	ドイ セイタロウ	3	慶應義塾普通部	高田馬場アトムズ
DF	12	長谷川 公亮	ハセガワ キミト	3	関東学院中学校	ヨコハマスターズ
DF	8	増田 楽人	マスダ ガクト	3	鶴見大学附属中学校	ヨコハマスターズ
DF	16	角丸 洸斗	カクマル ヒロト	3	川崎市立西中原中学校	新横浜ジュニア
DF	15	勝岡 鷺平	カツオカ シュウヘイ	3	横浜市立緑が丘中学校	アイリズ
DF	5	平田 陽馬	ヒラタ ハルマ	2	横浜市立東鴨居中学校	ヨコハマスターズ
DF	14	安村 昂暁	ヤスマラ タオ	1	横浜市立東山田中学校	アイリズ
DF	7	金子 瑛俣	カネコ アキラ	1	横浜市立茅ヶ崎中学校	新横浜ジュニア
FW	18	倉田 晃佑	クラタ コウスケ	3	慶應義塾湘南藤沢中等部	高田馬場アトムズ
FW	21	小島 壯太	コジマ ソウタ	3	慶應義塾普通部	高田馬場アトムズ
FW	13	中尾 靖士	ナカオ セイジ	3	茅ヶ崎市立円蔵中学校	アイリズ
FW	17	森 友哉	モリ トモヤ	3	桐蔭中等教育学校	西武東大和ジュニア
FW	20	上野 紘大	ウエノ ヒロム	3	横浜翠陵中学校	ヨコハマスターズ
FW	1	石村 虎太郎	イシムラ コタロウ	3	慶應義塾湘南藤沢中等部	ヨコハマスターズ
FW	19	小野 快志朗	オノ カイシロウ	3	逗子市立久木中学校	新横浜ジュニア
FW	10	小森 昊	コモリ ソラ	3	横浜市立戸塚中学校	新横浜ジュニア
FW	11	野口 大翔	ノグチ ダイト	3	横浜市立東鴨居中学校	新横浜ジュニア
FW	4	塚本 翔太	ツカモト ショウタ	2	慶應義塾湘南藤沢中等部	明治神宮外苑IHC
FW	9	渋谷 龍之介	シブヤ リュウノスケ	2	横須賀学院中学校	新横浜ジュニア
FW	3	長野 礼緒	ナガノ レオ	1	横須賀学院中学校	新横浜ジュニア

第77回国民体育大会 神奈川県(少年)代表選手

背番号	氏名	ポジション	所属	学年	C/A	備考
1	齊藤 大也	GK	武相高校	1年		
30	多田 圭之介	GK	慶應義塾高校	3年		
8	小林 晴真	DF	武相高校	3年		
11	辻 優大	DF	武相高校	3年	A	
10	山田 陽久	DF	武相高校	3年	C	
2	林 太一	DF	武相高校	1年		
7	大西 尚典	DF	慶應義塾高校	3年		
17	秋田 和延	FW	武相高校	3年		
5	古谷 凌我	FW	武相高校	3年		
9	山田 和門	FW	武相高校	3年		
18	後藤 琳太郎	FW	武相高校	2年		
15	平田 吹樹	FW	武相高校	2年		
4	高橋 来暉	FW	武相高校	1年		
14	立島 健大	FW	慶應義塾高校	3年	A	
23	栖原 大河	FW	慶應義塾高校	2年		
22	三田 輝明	FW	慶應義塾高校	2年		
補欠	秋田 快成	GK	慶應義塾高校	1年		
補欠	郷 基成	DF	慶應義塾高校	3年		
補欠	西 陸斗	FW	武相高校	1年		
補欠	山口 碧天	FW	武相高校	1年		
監督	菊地 拓海	神奈川県アイスホッケー連盟高校強化委員長(武相高校)				

第77回 国民体育大会アイスホッケー 成年の部 関東ブロック予選会
神奈川県代表チーム

No.	Pos	名 前	フリガナ	所 属
1	GK	木村 初穂	キムラ ハツホ	慶應義塾大学
2	GK	伊藤 周大爾	イトウ スオミ	日本体育大学
3	DF	松田 圭介	マツダ ケイスケ	チームハセガワB
4	DF	鈴木 惇平	スズキ ジュンペイ	イーグルス
5	DF	叶多 洸大	カノウダ コウダイ	箱根クラブ
6	DF	高橋 葵	タカハシ アオイ	青山学院大学
7	DF	佐々中 学人	ササナカ マナト	東洋大学
8	DF	水戸部 凌也	ミトベ リョウヤ	日本体育大学
9	DF	小山田 峻	オヤマダ シュン	NTT
10	DF	新垣 慶	アラガキ ケイ	日本体育大学
11	FW	荒谷 純吾	アラタニ ジュンゴ	伊藤忠
12	FW	十文字 陽亮	ジュウモンジ ヨウスケ	慶応義塾大学
13	FW	金村 恵典	カネムラ ケイスケ	伊藤忠
14	FW	金村 知紀	カネムラ トモノリ	伊藤忠
15	FW	滝 智弥	タキ トモヤ	電通
16	FW	金子 嵩基	カネコ タキ	日本体育大学
17	FW	佐野 靖也	サノ セイヤ	日本体育大学
18	FW	伊藤 優人	イトウ ユウト	日本体育大学
19	FW	林 風汰	ハヤシ フウタ	早稲田大学
20	FW	林 幹汰	ハヤシ カンタ	早稲田大学
21	FW	北川 海斗	キタガワ カイト	法政大学
22	FW	田原 輝志	タハラ テルシ	慶應義塾大学
23	FW	荘 敬大	ショウ タカヒロ	慶應義塾大学
24	FW	荘 晶大	ショウ マサヒロ	慶應義塾大学
25	FW	近藤 謙成	コンドウ ケンセイ	ケッターズ

第77回 国民体育大会冬季大会 アイスホッケー競技（成年の部）
 神奈川県代表チーム

No.	Pos	氏 名	ふりがな	所属チーム
1	GK	木村 初穂	きむら はつほ	慶應義塾大学
2	GK	伊藤 周大爾	いとう すおみ	日本体育大学
3	DF	松田 圭介	まつだ けいすけ	チームハセガワ
4	DF	叶多 洸大	かのうだ こうだい	箱根クラブ
5	DF	高橋 葵	たかはし あおい	青山学院大学
6	DF	水戸部 凌也	みとべ りょうや	日本体育大学
7	DF	佐々中 学人	ささなか まなと	東洋大学
8	FW	金村 恵典	かねむら けいすけ	伊藤忠商事
9	FW	金村 知紀	かねむら とものり	伊藤忠商事
10	FW	滝 智弥	たき ともや	電通
11	FW	近藤 謙成	こんどう けんせい	ケッターズ
12	FW	十文字 陽亮	じゅうもんじ ようすけ	慶應義塾大学
13	FW	佐野 靖也	さの せいや	日本体育大学
14	FW	林 風汰	はやし ふうた	早稲田大学
15	FW	林 幹汰	はやし かんた	早稲田大学
16	FW	北川 海斗	きたがわ かいと	法政大学

懲戒及び処分一覧

2022年3月31日 現在

大会名	氏名	チーム	年月日	ペナルティ		処分	対象試合	処分解除年月日
第77回国体冬季アイスホッケー関東ブロック大会	金村 恵典	国体神奈川県代表チーム	2021/12/5	MP	#60条4「ハイスティックングによって無謀にも相手を危険にさらした」行為により、マッチ・ペナルティ	3試合 出場停止	都連公式戦	2022/1/21
第69回神奈川選手権	高橋 連二郎	アイスバンディッツ	2022/3/8	MP	#49条3「キッキング」によりマッチ・ペナルティ	5試合 出場停止	2022/4/1 2022/4/15 及び次回 県内大会	
第69回神奈川選手権	齊藤 義之	イワトビペンギンズ	2022/3/8	2+5+ GM	#46条3「ファイティング(最初に殴った)」によりマイナー・ペナルティ+メジャー・ペナルティ+自動的なゲーム・ミスコンダクト・ペナルティ	3試合 出場停止	2022/3/27 2022/4/19 及び次回 県内大会	
第69回神奈川選手権	高橋 幸之介	アイスバンディッツ	2022/3/8	2+5+ GM	#46条3、7「ファイティング(最初に介入した)」によりマイナー・ペナルティ+メジャー・ペナルティ+自動的なゲーム・ミスコンダクト・ペナルティ	3試合 出場停止	2022/4/1 2022/4/15 及び次回 県内大会	
第69回神奈川選手権	Durkee Joel	横浜JETS	2022/3/16	GM	#39条5「アビュース・オブ・オフィシャル」による2回目のミスコンダクト・ペナルティで自動的なゲーム・ミスコンダクト・ペナルティ	追加処分 無し	—	—

審議委員会事項

2022年3月31日 現在

大会名	チーム名	内容	処分